

アイスを守る、腹黒い作戦。



包みかく  
さず  
話します



ほろ苦い味わいと美しい緑が特徴の抹茶アイスですが、光を浴び続けると風味が損なわれてしまったり、変色してしまうのをご存知ですか。

そこで私たちが生み出したのが「遮光性紙コップ」。このコップ、容器の内側に光をさえぎる黒い紙をしのばせているのですが、それによって店頭などで長時間光の下にさらされるアイスの品質を守り続けています。

この黒い紙、抹茶アイスにとってなくてはならないものなのですが、外からは決して見えません。まさに黒子として頑張っているんですね。今後は、この技術をヨーグルトなどの製品などでも汎用していけないかと試行錯誤しているところ。

料理って、器によって味わいが変わる、なんて言いますよね。私たちも単なる容器ではなく、アイスの味を引き立てる「器」をつくっているという視点で、この腹黒い作戦をさらに進化させていきたいと思えます。

包容力がちがう。